

Q. 3歳ですが、偏食がひどく決まったものしか食べません。

A. 3歳児は自我を強く示す時期です。神経質な対応はかえって嫌いな食べ物を意識させてしまいます。まずはおおらかに構え、食事を楽しむ環境整備をしましょう。普段の食事をバラエティー豊かにし、家族と同じ食事を楽しく食べる雰囲気にならせます。外食や弁当形式の食事や交際、同年代の友だちとワイワイ会食をするなど、イベント化するのも良いでしょう。時には幼児も楽しく行える手伝い（野菜を洗う、ゆでたジャガイモをスプーンでつぶす）をさせ、食事への好奇心を養いましょう。空腹で食事を迎えるようリズムを整えましょう。それでも偏食がひどい場合は、自閉症などの発達障害の可能性も考えてかかりつけの小児科医に、食事の噛みしめや飲み込み、発音などが気になったら、口腔機能発達不全症という病気もあるので、歯科医に相談することをお勧めします。

こどもの抜歯

高橋 康男（埼玉県立小児医療センター小児歯科）



Q. 虫歯がひどく、半年前に奥の乳歯の治療を行いました。治療直後は数日痛がっていましたが、すぐに治まり食事摂れていました。数日前から根のあたりの歯肉が腫れ、黄色の膿が時々出てきます。また、その治療した歯はぐらぐらしています。

A. 早急に医療機関を受診してください。虫歯の進行が激しく、神経までに到達した状態（**歯肉膿瘍**）が考えられます。根の周囲の骨を溶かし、歯がぐらぐらしている状態です。後に続く永久歯への影響を考えると抜歯が必要になる場合も珍しくありません。なお、この状態を放置すると蜂窩織炎といってさらに重篤な状態にまで進むケースもあります。

Q. 前歯が生え変わり6歳臼歯も生えた後4～5年経ちますが、前歯と奥歯の間にある乳歯が全く揺れてきません。

A. 歯の数が少なかったり、永久歯との生え変わりが何等かの原因で遅れている可能性があります。そのことを歯の**萌出遅延**といいます。医療機関を受診してください。歯の萌出遅延とは平均的に生える時期から1年以上経過しても生えてこない場合をいいます。内分泌異常、遺伝疾患などの体の問題や過去に歯をぶつけたことによる局所的な原因も考えられます。

Q. 6歳になるこどもの下の前歯が抜けず永久歯が後方より生えてきました。

A. 本来、歯が生える位置や全く違う場所に歯が生えてくることを永久歯の**異所萌出**といいます。速やかに医療機関を受診してください。

Q. 9歳になろうとしているこどもの上あごの真ん中の1本が生え変わりません。すでに片方の1本は永久歯になっています。

A. あごの骨の中の永久歯が生える経路に何らかの異物があるため、永久歯が生えることができないのかもしれませんが、まずは医療機関を受診しましょう。X線撮影検査にてあごの骨に**過剰な歯**などが見つければ、抜歯の適応となります。

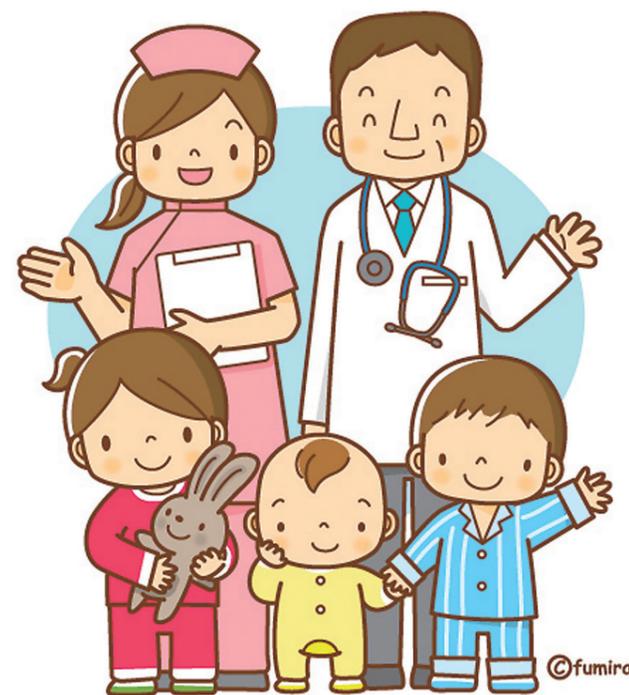
Q. 4歳のこどもの奥から2番目の乳歯が前後の歯の高さに比べ明らかに低くなっています。

A. 医療機関を受診してください。**低位乳歯**といわれるものです。本来歯の根は直接骨にくっついてはならず歯根膜というやわらかい組織がその間に入っています。低位乳歯では一部の根が直接骨にくっつきそのために永久歯が生えるときに自然に抜けないことがあります。X線撮影検査により後続の永久歯が生える邪魔をしている場合にはいずれかのときに抜歯となることがあります。

Q. 生まれた直後の我が子ですが、すでに下の前歯が生えているようです。しかも、かなりグラグラしています。

A. **先天性歯（出産歯、魔歯）**といわれるものです。授乳しているときに母親の乳首に痛みを感じたり、上あごの歯茎に傷ができたりし、授乳の妨げになることがあります。また歯の揺れが激しい場合、誤飲や気管内に入るなどの危険がありますので、抜歯となることもあります。小児歯科専門医にご相談ください。

こどもの健康週間 2019



日本小児科学会 東京都地方会
協力：日本小児歯科学会 関東地方会

〒160-8306
東京都新宿区西新宿 5-25-11 (株)日本小児医事出版社内
日本小児科学会 東京都地方会 事務局
TEL.03-5388-7007 FAX.03-5388-5193

2019.10 作成

赤ちゃんの発熱

森岡 一郎（日本大学板橋病院小児科）



Q. 赤ちゃんも熱が出ることはあるのですか？

A. 生後半年以内、特に生後3か月未満の乳児は、妊娠中にお母さんの免疫を胎盤を通じてもらっているため、一般に感染症にはかかりにくいものです。逆に、そのような状況で熱が出ているので、注意が必要になります。

Q. 何度以上が発熱でしょうか？

A. 大人の体温と異なり、37.5℃以上のときが発熱です。赤ちゃんは体温のコントロールが未熟ですので、環境温（部屋の温度、服の着せすぎ、布団のかけすぎ）によって容易に体温が変動します。「熱があるかな」と思ったら、少し時間をあけて複数回測定することをお勧めします。

Q. 放っておいても良いのでしょうか？

A. 一般にこどもの発熱の多くの場合、その原因は「かぜ症候群」とよばれるウイルス感染によるものであり、安静と水分・栄養補給などの対症療法で軽快します。しかし、生後3か月未満の乳児の発熱においては話が異なり、小児科を受診する必要があります。

Q. どうして早期に小児科受診が必要なのでしょう？

A. 生後3か月未満の乳児は発熱以外の症状がわかりにくく、対応が遅れがちになります。また、前述のようなウイルス感染も比較的多いのですが、入院して抗菌薬による治療が必要な重篤な細菌感染症が原因である場合がありますので、小児科を受診し精密検査が必要になります。

Q. 発熱以外にどのような症状があるのでしょうか？

A. 母乳やミルクの飲みが悪くなる、顔色が悪い、不機嫌でずっと泣いているなどがあります。しかし、最も大事なことは、養育者のなんとなく「いつもと違う」と感じる事が重要な所見になります。

Q. どのような検査が行われるのでしょうか？

A. 前述のように、生後3か月未満の乳児の発熱では、多くの場合は入院の上、検査が必要となります。具体的には、血液検査、尿検査、咽頭や鼻腔の検査、胸部X線撮影などがすぐに行われます。重篤な細菌感染症の代表である細菌性髄膜炎を起こしていないかどうかを調べるために、脳や脊髄を流れている髄液を採取して検査を行うことがあります。

Q. 赤ちゃんの発熱は重篤な細菌感染症が原因であることが多いのでしょうか？

A. 実際は、生後3か月未満の乳児においてもウイルス感染によるものの方が頻度が高いです。しかし、大人やこどもの発熱と異なり、ウイルス感染を第一に考えて対応することはありません。先に検査を行い、その後の十分な経過観察とともに細菌感染症を否定することが重要です。

Q. どのような治療が行われるのでしょうか？

A. 通常、解熱薬が使用されることはありません。また、赤ちゃんの状態や種々の検査の結果を総合的に判断し、治療方法が選択されます。入院の上、治療が行われることが一般的です。

ことばの遅れ

岡 明（東京大学小児科）



Q. ことばはどのように発達をしますか？

A. 赤ちゃんは3か月頃にはしっかりと目でこちらの様子を追い、笑いかけるとにこやかな笑顔を返してくれるようになります。アー、ウーなどの喃語が始まります。6か月以降には、喃語もバ、ブなどの音加わり、にぎやかになってきます。1歳前には、「だめ」といわれるとこちらの顔を見て動きを止めるようになり、ことばの理解が始まります。意味のあることばを初めて言うようになるのが1歳過ぎで、ワンワン、パパ、ママ、マンマなどのことばを言うようになり、1歳6か月の健診では意味のある単語を数語言えるかどうかを確認しています。また、このころには、「ちょうだい」「おいで」などの指示も理解し、親子の間でのことばによるコミュニケーションが始まります。2歳になると言うことができる単語の数は増えるばかりでなく、「まんま、たべる」のような単語をつないだ文も言うようになります。

右ページ上へつづく

Q. ことばの発達に個人差はありますか？

A. ことばの発達には個人差もあります。例えば、こちらの言ったことはよく理解できているので生活にはあまり困らないが、ことばがなかなかでてこない幼児もいます。3歳頃になり急に話す単語の数が増えてきて、ほかのこどもたちに追いついてくる場合もあります。ただ、気になったらかかりつけの小児科の先生にご相談ください。

Q. ことばの発達の遅れにはどのような原因が考えられますか？

A. ことばの発達には耳がしっかりと聞こえていることが非常に重要です。多くのお子さんは新生児の時期に、聴覚スクリーニング検査を受けていると思います。ただ、新生児期には聴力は正常でも、中耳炎などの炎症などにより聴力が低下して、乳幼児のことばの発達に影響があることがあります。ですので、ことばが明らかに遅れている場合には、聴力検査を行って、音が確実に聞こえていることを確認する必要があります。

発達性言語障害（言語症）は、ほかの面での発達の問題がないにもかかわらず、ことばが遅れる場合です。こちらのことばの理解が良好な場合と、理解も難しい場合とがあります。ただ、ジェスチャーなどを通じた周囲の大人との間のコミュニケーションは良好です。

神経発達症（発達障害）の中で、自閉症スペクトラムのお子さんの多くは、ことばの遅れを伴っています。こうしたお子さんは、ことばだけでなく視線があいにくかったり、ジェスチャーや身振りなどによるコミュニケーションにも課題があるのが特徴です。

また、ことばの発達には、幅広い認知機能（知能）の発達が必要です。知的な課題があるお子さんは、ことばの発達が遅れることもしばしばみられます。

Q. ことばの遅れを心配した場合にどうしたら良いのでしょうか？

A. 乳幼児との毎日のコミュニケーションはとても大切です。ことばが遅れているお子さんの方も、親御さんとのコミュニケーションがうまくいかず困っているのかもしれませんが、もし何か気になることがあればかかりつけの小児科の先生や、健診の際などに是非ご相談ください。何か原因がないかどうかを確認することも大事ですし、また毎日の家庭でのコミュニケーションをどうやって行えばよいか、相談していただくと良いと思います。

こどもの偏食

永田 智、鎗木陽一郎（東京女子医科大学小児科）



Q. 離乳食が進まないのですが、どうしたら良いのでしょうか？

A. 月齢相応の離乳食が進まない理由は、離乳食の開始時期や進める速度が遅すぎることが原因といわれています。離乳食が進んでいないと、お子さんは仕方なくエネルギー源を母乳やミルクに求めるようになり、次第にその食事環境に慣れてしまうことで、新たな離乳食を受け付けにくくなってしまいます。そのようなときは、おもちゃに手を伸ばす時期であれば、そのおもちゃを離乳食の入った器にすり替えるだけで、お子さんはそれを手づかみにして口にもっていくうちに、自然に遊びながら食べるようになることでしょう。あえてスプーンなどを使わない野性的な「手づかみ食べ」の大切さがいま見直されています。お行儀は、もつとずつとあとに身につけさせるので十分でしょう。

Q. 1歳を過ぎて常食にしたが、母乳と白飯を欲しがり、おかずを食べません。

A. 離乳食の進みの遅いお子さんが1歳を超えて常食になったときに起こりがちなことです。ここでも「手づかみ食べ」の戦法が効果を発揮します。ピクニックで使うようなビニールシートの上に小さな器に肉、魚、野菜などのバラエティー豊かなおかずを並べておけば、お子さんの自由意志で遊びながら食べるようになるでしょう。周囲を汚すことは覚悟の上で、食事は遊びと同じで「楽しいこと」と思わせれば、いろいろな食材を試してみたくはなりません。「自分で選んだものは自分で責任をもって食べる」という精神が育って、肥満を防ぎ、将来は美食家になるという報告もあり、お勧めです。

Q. 2歳になりましたが遊び食べが治りません。放置して良いのでしょうか？

A. 好奇心旺盛な2歳児にとって食べ物「遊び道具」になり得ますが、3歳頃には遊び食べはほぼ消失すると言われています。遊び食べを頭ごなしに否定すると、こどもは食事を楽しめなくなります。食事を楽しい習慣にするよう環境整備をしましょう。まずこどもの興味を引くようなテレビは消し、おもちゃはしまいましょう。食前に運動させ、空腹にすることも大事です。食事時間は30分程度で区切り、遊び続ける場合は「ごちそうさま」をして食事を片付けましょう。こどもは両親の真似をしたがりです。食事が遅くてもなるべく親が食べさせることはしないようにしましょう。横に座ってあげるとこどもが真似しやすくなることもあります。

次ページへつづく